

平成 30 年 1 月 10 日

関係者各位

国立科学博物館 植物研究部

細矢 剛

NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

理事長 山西 良平

「第30回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会」の開催について

平素、自然史標本データ整備事業につきまして、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第 30 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を、兵庫県立人と自然の博物館(兵庫県三田市)において、下記のとおり開催いたします。今回のテーマは、「未知の外来生物の侵入に博物館はどう対処できるか」をテーマに、特に昨年話題となったヒアリ類への対応について、生物多様性情報や標本の活用、写真撮影技術を交えて話題提供と実演を行いたいと思います。関心のある方、外来生物の問題で当事者となられた方々、ぜひご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。ご参加いただける場合は、別紙に必要事項をご記入の上、**2月6日(火)**までにメールまたはFAXで下記担当までご返送ください。

記

会合名： 第 30 回 自然史標本情報の発信に関する研究会

「未知の外来生物の侵入に博物館はどう対処できるか？」

- ・基礎研究がヒアリ対策を支える ～ヒアリの同定法から対策まで～

(兵庫県立人と自然の博物館 橋本佳明主任研究員)

- ・アリ類研究とデータベース：名前と画像と文献と標本と分布とその活用

(沖縄科学技術大学院大学 OIST 吉村正志)

【特別演示】

- ・超高精細でリアルな標本写真の撮影方法 (NPO法人フィールド 堀内保彦)

主催： 国立科学博物館、NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

日時： 2018年2月12日(月・祝) 13時00分～17時00分

場所： 兵庫県立人と自然の博物館 <http://www.hitohaku.jp>

〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目

内容： 別紙1のとおり

申込みフォーム：別紙2のとおり

備考： 定員 50 名を予定。多数の場合、博物館関係者の優先および抽選とします。

本件問い合わせ先

国立科学博物館
担当：細矢・安田
兵庫県立人と自然の博物館
担当：三橋
hiromune@hitohaku.jp

第30回 自然史標本情報の発信に関する研究会

標本写真の撮影技術に関する基礎講習会

主催：国立科学博物館、NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

当研究会では、国立科学博物館を中心として、全国の地方博物館のネットワークによって運営している「サイエンスミュージアムネット」における、自然史標本検索システムの充実と GBIF への情報発信、自然史標本情報を利用した研究の新たな展開を目的とした会合を開いております。今回は、「未知の外来生物の侵入に博物館はどう対処できるか」をテーマに、特に昨年話題となったヒアリ類への対応について、生物多様性情報や標本の活用、写真撮影技術を交えて話題提供と実演を行いたいと思います。まず、今回のヒアリ問題が生じた当初から、標本の鑑定や対策等について全面的に指揮されていた兵庫県立人と自然の博物館の橋本佳明さんから、ヒアリ類の同定方法について、実物をつかった解説や標本作成や対策について話題提供いただきます。昨年のヒアリパニックにおいて、最も重要になったのは、「基礎研究の積み上げ」です。この点についても解説いただきます。もう一題は、沖縄県にてアリ類の分類学をはじめ、体系的な野外モニタリングやデータベース構築を勢力的に行われている沖縄科学技術大学院大学の吉村正志さんから、データベースづくりの背景や活用について解説いただきます。また、今回は特別演示として、文化財等の高精細画像の撮影でご活躍されているNPO法人フィールドの堀内保彦さんからは、ヒアリをはじめ植物標本について研究に使えるレベルの高精細な画像を簡易に撮影する方法について解説いただきます。

この講座の対象は、全国の博物館学芸員および博物館とともに活動するボランティアスタッフ、学芸員をめざす学生を対象としています。実践テクニックを中心として実演しながら解説いたします。皆様お誘いあわせの上、ご参加くださるようお願いいたします。

日時： 2018年2月12日（月・祝） 13時～17時

場所： 兵庫県立人と自然の博物館

〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目

定員： 50名（多数のとき、博物館関係者を優先）

内 容

「未知の外来生物の侵入に博物館はどう対処できるか？」

- ・基礎研究がヒアリ対策を支える ～ヒアリの同定法から対策まで～
（兵庫県立人と自然の博物館 橋本佳明主任研究員）
- ・アリ類研究とデータベース：名前と画像と文献と標本と分布とその活用
（沖縄科学技術大学院大学 OIST 吉村正志）

【特別演示】

- ・超高精細でリアルな標本写真の撮影方法 （NPO法人フィールド 堀内保彦）

参加申し込み（定員：50名 申し込み多数の際は博物館関係者を優先とします）

申し込み締切り日：平成30年（2018年）2月6日（火）まで

申し込み先：国立科学博物館 標本資料センター 安田 敦子宛（noffice1@kahaku.go.jp）

電話：029-853-8277 FAX.：029-853-8401

添付の参加申込用紙にご記入の上、電子メール、FAXにてお申し込み
ください。

その他

- ・参加される方は、博物館の4F（地上階）の関係者用入口から、「研究会参加」の旨を伝えて入場ください。
- ・前日の2月11日には、当館が主催する「共生のひろば」があります。この会合は、兵庫県内および周辺の自然愛好家や学校団体、市民科学者が集まって発表する市民学会です。約90タイトルが発表される予定で、博物館の地域活動の様子が分かります。宜しければ、併せてご参加ください。

URL： <http://www.hitohaku.jp/infomation/event/kyousei13th.html>

以上

平成 年 月 日

参加申込用紙

担当：国立科学博物館 安田敦子

「第30回 自然史標本情報の発信に関する研究会」参加申込用紙

平成30年2月12日（月・祝）に開催する「第30回 自然史標本情報の発信に関する研究会」に参加ご希望の方は、平成30年2月6日（火）までにメール添付またはFAXでご送信ください（メール送付先：国立科学博物館 安田 敦子 nooffice1@kahaku.go.jp、FAX 送信先：029-853-8401）。今後の研究会開催の参考とするため、以下の項目についてご記入下さるようお願いいたします。お申し込みの多い場合は、博物館関係者を優先させていただきます。

氏名

住所（都道府県のみを記して下さい）

職業

勤務先

連絡先 TEL

E-mail

あなたの性別をご記入ください。

男 女

あなたの年齢をお答えください。

10歳未満 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80才以上